



演題

人工バクテリオファージの創出



講師

安藤 弘樹 先生

岐阜大学 大学院 医学系研究科 病原体制御学分野

要旨

バクテリオファージは細菌の天敵ウイルスです。ファージを用いた細菌感染症治療はファージセラピーと呼ばれ、いま世界的な盛り上がりを見せています。

細菌とヒトは密接に関わっています。細菌感染症は言うに及ばず、細菌叢が私たちの健康と疾病、時に性格にまで影響することが明らかになっています。私は、ファージセラピーを含め、ファージの実世界での応用を目指した研究をしています。本講演では、天然ファージを用いた従来の方法に加えて、私たちが取り組んでいる人工ファージの応用についてもご紹介します。そもそも人工ファージとは何なのか、どのように創るのか、というご説明から、天然ファージと人工ファージそれぞれの長短所、ファージの真の実用化にはどのような課題があるのか、それをどのように克服するのかについてお話しさせていただきます。

皆さまと議論できることを楽しみにしております。

ご略歴

～2007年3月・大阪大学大学院医学系研究科博士課程
腸管出血性大腸菌におけるIII型分泌装置の成熟機構の解析
博士（医学）

～2012年6月・国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部
研究員を経て上級研究員
結核菌のイソニアジド耐性機序の解明

～2017年3月・マサチューセッツ工科大学合成生物学センター合成生物学グループ
日本学術振興会海外特別研究員、研究員を経て上級研究員
人工バクテリオファージの創出

～現在・現職
次世代ファージセラピーの社会実装に向けた研究

日時

2019年9月3日（火）

14：00～15：00 開場13：30

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部 大屋 賢司
電話：044-270-6576 メール：kohya@nihs.go.jp